

「すこやか相談室」のご案内



問い合わせ
岩美病院 事務局
☎73-1421

岩美病院には、病気や心身障がい等によって生じる諸問題（退院後の生活、介護、入院中の医療費など）を調整・解決するために、社会保障・社会福祉サービス（介護保険サービス）等の社会資源を紹介・活用して、ご本人・ご家族の方々が安心して自立した生活を送ることができるよう、支援を行なう「すこやか相談室」があります。

この相談室には2名の医療ソーシャルワーカーが相談業務を担当しています。医療ソーシャルワーカーとは、保健・医療・福祉の分野で働く福祉の専門家です。患者様ご本人やご家族の方々から様々な相談を受け、解決に向けて一緒に考えていきます。

たとえば、初めての入院で心細い、入院中の家族の生活が心配、入院中に使える医療や福祉のサービスが知りたい等、病気になると様々な心配や不安が生



こんな時のご相談は「すこやか相談室」に！

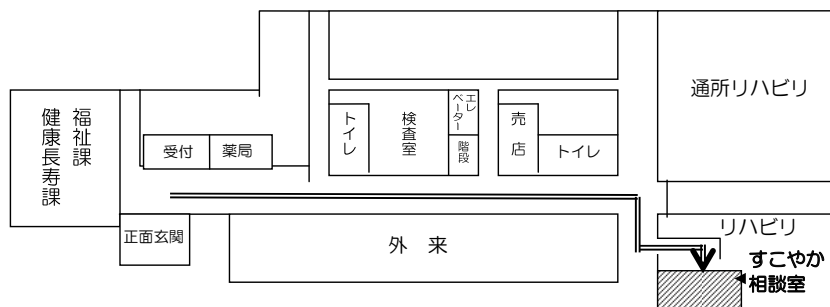


じると思います。そんな時は、私たち医療ソーシャルワーカーにお気軽に声をかけください。入院中のベッドサイドでお話を聞かせていただくこともできます。もちろん、プライバシーや秘密は厳守しますので、ご安心ください。

どんな些細なことでも構いませんので、相談室にお越しください。

相談時間

8：30～17：15（土日・祝日を除く）
（時間外の場合は事前にご相談ください。）
「すこやか相談室」☎73-1421
（相談員：中井・田中）



人権学習 155

人の命を大切に、自助・共助・公助

最近、自分の住んでいる地域で防災組織を立ち上げたいということで、防災講演会等に参加する機会が多くなりました。

「いつ来るかわからない災害に備えて、日頃から防災意識を高め、それを維持していくことが大事です。」と話されることは大変よく分かるのですが、・・・

いつでも、どこでも、だれにでもおこりうる災害であり、今、大地震がおこったらどうしていいのかわかりません。まさに、頭の中で考えた防災組織であり、防災活動の段階です。

それでも、いろいろな話し合いの会で、理解できることもありました。

○防災活動で一番大切なことは、「人を災害で死なせないこと」。

防災活動は人の命を大切に人権教育であり、災害の減災活動はたくさんの人々のためになる福祉教育につながるものということです。

○自助、共助、公助の大切さです。

自助……自分で自分を助けること

共助……家族、企業や地域コミュニティで共に助けあうこと

公助……行政による救助・支援のこと

防災の基本は「自助」です。自分の命は自分で守る、自分のことは自分でなんとかすることが大切です。そして、喜びにつながるのは「共助」です。「公助」は最後のよりどころだと思います。

これからも研修を続けていきます。そして、私の住んでいる地域では、

・それぞれの地域の小単位ごとに「1次避難所」を設定し、地域住民に知らせる。

・各戸に、一目で分かる「防災のとき」を配布する。

・広報紙等で、粘り強く啓発する。

などに取り組んでいます。

新しく防災組織を立ち上げ、防災活動を一つずつ実践していく地域づくり、町づくりにチャレンジ中です。

（人権教育推進員）